

新建設業管理システム開発業務に係る
公募型プロポーザルについての回答書

令和8年7月28日
福島県入札監理課

業務名	新建設業管理システム開発業務
質 問 ・ 回 答 事 項	
Q 1 要求仕様書 【第3 システム連携図】 1. 三層分離モデルについて 1.1. 貴庁における地方公共団体情報システム強靱性向上モデルについて貴庁が採用されている三層分離モデルのタイプを以下からご回答ください。 [] α モデル（従来型） [] β モデル（インターネット接続系への業務移行型） [] α' モデル [] β' モデル	
A 1 α モデル（従来型）です。	
質 問 ・ 回 答 事 項	
Q 2 2. ファイルレイアウトの開示時期について 2.1. 各システムから出力される連携 CSV ファイルのファイル定義書（レイアウト、データ型、桁数、コード体系等）は、契約後にご提供いただけますでしょうか。 【対象システム】 各庁内システム（事業執行管理システム（土木部のみ） / 農林事業管理システム（農林水産部のみ））、電子入札システム、電子閲覧システム、企業情報等提供サービスのデータ [] 提供可能（時期：契約後速やかに / 基本設計フェーズ等） [] その他（ ）	
A 2 ファイル定義書は、契約後に提供可能です。	
質 問 ・ 回 答 事 項	
Q 3 3. 連携データ取込の仕様について 要求仕様書に記載されている CSV ファイルごとの取込周期について、当社の想定するデータ取込の処理起動および運用認識に相違ないかをご回答ください。	

	業管理システムが構築されるネットワークセグメントから、データベース (DB) ポート (TCP/1521、1433、5432 等) を介した直接の接続 (SQL クライアント接続や API 等) が可能なネットワーク構成でしょうか。 ☐ 直接接続可能 ☐ 直接接続不可 (中継サーバー等を経由する必要がある 等) ☐ その他 () 5.2. DB 連携における具体的なデータ連携方式について 電子閲覧システムが建設業管理システム側のデータを参照する際の具体的な方式 (インターフェース仕様) をご教示ください。 例: 建設業管理システム側で参照専用のビュー (View) テーブルを提供し、電子閲覧システム側から SELECT 文を発行してデータを取得する。検索キーによる絞り込みや取得したデータの整形・登録処理等は、電子閲覧システム側のアプリケーション側で行う、等
A 5	5.1. 「直接接続可能」です。 5.2. DB 連携における具体的なデータ連携方式については、新建設業管理システム側の仕様に合わせて、電子閲覧システム側のアプリケーション側で連携を行います。
質 問 ・ 回 答 事 項	
Q 6	6. 「③ 電子入札システムへ連携 (CSV ファイル) 」について 6.1. セグメント間 (LGWAN 系 → インターネット系) におけるファイル転送運用について 電子入札システム (インターネット系) へ連携するデータを、LGWAN 系に属する建設業管理システムから持ち出す際のプロセスについて、以下の認識で相違ないでしょうか。 【当社認識】 システム利用者が貴庁所定のファイル転送システム (ワークフロー等) を介して申請・承認処理を行い、承認された CSV ファイルのみがインターネット接続系のデータ格納先に配置される (システム間での完全自動転送ではなく、人手を介した承認・転送プロセスを挟む想定)。 ☐ 相違なし ☐ 相違あり (異なる点:)
A 6	「相違あり」です。異なる点: 「 (システム間での完全自動転送ではなく、人手を介した承認・転送プロセスを挟む想定) 」ではなく、承認された CSV ファイルを全自動転送で LG-WAN の所定のフォルダに保存すること、を想定しています。

質 問 · 回 答 事 項

Q7 7. 「④ 電子入札システムからの連携（CSV ファイル）」について
7.1. セグメント間（インターネット系 → LGWAN 系）のデータ持込および無害化運用について

インターネット系の電子入札システム側から出力された CSV ファイルを、LGWAN 系の建設業管理システムに取込む際、無害化处理（サニタイズや CSV の再構築等）が必要になるかと存じます。

これに伴い、以下の運用手順を想定していますが、相違ないでしょうか。

【当社想定運用手順】

1. 利用者がインターネット環境側で CSV ファイルをダウンロードする。
2. 貴庁所定の「ファイル無害化システム」等を通じ、無害化したファイルを LGWAN 環境に持ち込む。
3. 持ち込まれた CSV ファイルを、建設業管理システムの取込対象フォルダへ手動で配置（または画面からアップロード）する。

[] 相違なし
[] 相違あり（異なる点：)

A 7 「相違あり」です。異なる点：「取込対象フォルダへ手動で配置」ではなく、取込対象フォルダへ自動で配置することを想定しています。

質 問・回 答 事 項

Q 8 8. 「⑥ 一般財団法人建設業技術者センターからの連携」について

8.1. 連携対象となるシステムの特定制について

「企業情報等提供サービス」よりデータを取得（出力）するシステムについて、貴庁が想定されているものは以下のどちらに該当しますか。

☐ 発注者支援データベース・システム

☐ JCIS（ジェイシス）検索システム

☐ 両方

☐ その他（具体的なシステム名やサービス名をご回答ください： ）

A8 「発注者支援データベース・システム」です。

質 問・回 答 事 項

Q 9 9. 連携データの種類（パターン）について
建設業管理システム側に取込み予定のデータ種類（データパターン）
はいくつございますか。ご回答ください。

A 9	仕様書上で示している「システム構成図」のとおりです。
質 問・回 答 事 項	
Q 1 0.	【第4 本システムの調達範囲について】 1. 「(2) ソフトウェアの調達」について 1.1. 必要なソフトウェアのひとつとして、操作端末上に Word、Excel (Office) が必要となる予定ですが、その場合は調達範囲に含まれますでしょうか。 ☐ 不要。操作端末には一律インストール済みである ☐ 操作端末は一部に限定し導入を求める(ライセンス数: 本) ☐ 全ての操作端末に導入を求める(ライセンス数: 本) ☐ その他 ()
A 1 0	「不要。操作端末には一律インストール済みである」です。
質 問・回 答 事 項	
Q 1 1	2. 「(6) システムの運用・保守」について 2.1. ソフトウェア保守料金は、本件の開発業務とは別契約と考えておりますが、認識は正しいでしょうか。 ☐ その認識で正しい ☐ その他 ()
A 1 1	「その他」です。令和10年3月31日までのシステム運用・保守の料金は、本調達に含めます。
質 問・回 答 事 項	
Q 1 2	【第5 機能概要について】 1. 「1 ユーザ管理」について 1.1 システムをご利用になるユーザの管理についてお考えに該当するものを教えてください。 ☐ ユーザ情報は必要な都度、個別登録するのでデータ連携は不要 ☐ ユーザ情報は個別登録も行うが、職員情報等も紐づけしたい (☐ 随時: 手動で必要な時に実施 / ☐ 定期: 自動更新) (データ形式と連携方法:) ☐ その他 () 1.2 ユーザごとに設定するアクセスレベルについて教えてください。 ☐ 未確定(これから決定する) ☐ 既に新規定が決まっている(提示が可能:)

A 1 2	1.1. 「その他」です。ユーザ管理は、年度当初に本年度分のユーザを一括して登録し、年度途中で追加・削除登録が必要な場合は、手動で個別に登録することになります。 1.2. 「未確定」です。なお、ユーザ毎のアクセス権限設定の提案については、評価対象となります。
質 問・回 答 事 項	
Q 1 3	2. 「2 業者管理」について 2.1. 登録件数は年間何件ぐらいを想定していますか。（年間：件） 2.2. 管理されている業者番号について教えてください。 [] 全てユニークな識別番号である（番号規則： ） [] 登録年度毎に毎回振り直しされる番号である（番号規則： ）
A 1 3	2.1. 2年に1度の有資格者名簿の登録により3,000件程度の件数が想定されます。 2.2. 「全てユニークな識別番号」です。番号規則は、連番です。
質 問・回 答 事 項	
Q 1 4	3. 「3 案件登録」について 3.1. 登録件数は年間何件ぐらいを想定していますか。（年間：件）
A 1 4	年度当たり最低3,500件を想定しています。
質 問・回 答 事 項	
Q 1 5	4. 「8 企業情報等提供サービスの取込み」について 4.1. 登録件数は年間何件ぐらいを想定していますか。（年間：件）
A 1 5	一般財団法人建設業技術者センターから送られてくる1日1回のデータの取り込みを想定しています。
質 問・回 答 事 項	
Q 1 6	5. 「9 建設許可の取込み」について 5.1. 登録件数は年間何件ぐらいを想定していますか。（年間：件）
A 1 6	A 1 5と同様です。

質 問 · 回 答 事 項

Q 1 7 【現行建設業管理システム仮想サーバ仕様書】

6. 「3 仮想サーバ仕様」について

6.1 サーバOSはWindows Server2025 と考えてよいでしょうか。

「」はい

[] いいえ (OS :)

6.2 OSは新規で払い出しされるのでしょうか

「」既存のOSを流用する

「」新規で払い出しされるOSである

A17 6.1 「いいえ」です。Windows Server2019 です。

6.2 「既存のOSを流用する」です。

質 問・回 答 事 項

Q18 別紙1【現行建設業管理システム出力帳票集】

1. 帳票について

1.1. ご提示頂いた帳票以外に何帳票はございますか。

「」提示した10枚の帳票が全て

[] 別にある (全帳票数: 帳票は全て[]提示可/[]提示不可)

1.2. 統計資料的なものはございますか。

[] ある

[] ない

A 1 8 現行システムの帳票については、仕様書別紙に示す 1 0 枚と非公表 5 枚です。非公表帳票については、本調達の契約後に提示可能です。統計資料はありません。なお、非公表様式は、A 4 版用紙 1 ～ 4 枚程度です。

質 問・回 答 事 項

Q19 別紙3【評点の方法について（令和7・8年度）】

1. 「I 算出方法」について

1.1. 主観点算出のための項目や評点は登録年度によって異なりますか。

「」 変わらない

〔 〕 異なる（条件等： ）

A19 「異なる」です。制度改正などにより、登録年度によって項目や評点等、変わる場合があります。

質 問・回 答 事 項	
Q 2 0	仕様書 p1 第 4 打ち合わせについて、必要に応じて Web 会議で行うことは可能でしょうか。
A 2 0	可能です。
質 問・回 答 事 項	
Q 2 1	仕様書 p1 第 4 (2) 仮想化統合サーバで Windows Server OS を利用したい場合、ライセンスは業者側で準備が必要でしょうか。必要な場合、ライセンスの調達数量にかかわるため、物理サーバの台数、1 台当たりの CPU の Core 数をご教示ください。
A 2 1	仮想化統合サーバで Windows Server OS の利用は可能であり、業者側でライセンスの準備は不要です。
質 問・回 答 事 項	
Q 2 2	仕様書 p2 第 4 (9) 研修会について、庁舎施設を利用することは可能でしょうか。利用可能な場合、1 開催あたりの施設収容上限人数、開催が必要な拠点数をご教示ください。
A 2 2	研修会において、庁舎施設を利用することは可能であり、1 開催あたりの施設収容上限人数が最大 2 0 0 人の会場があります。 なお、開催内容（開催方法や開催数等）については企画提案における評価対象となります。
質 問・回 答 事 項	
Q 2 3	仕様書 p3 第 6 5 職員からは、現行システムの画面構成や操作性に近づけてほしいとの要望が寄せられることが想定されます。現行システムに関する情報の開示可否についてご教示ください。開示可能な場合は、開示いただける範囲および受託事業者側での利用・持ち出しが可能な範囲についてご教示ください。 例として、以下の資料です。 ・画面のスクリーンショット ・帳票サンプル（内容は全項目マスクデータで可） ・システムのデータベース仕様書

・システムのデータベース ・システムのプログラム
A 2 3 システムの画面構成や操作性等については、現行のシステムにとられない、よりよい提案が企画提案における評価対象となります。 なお、現行システムに関する情報の開示については、本調達の契約後、必要に応じて現行のシステムベンダと協議が必要となります。
質 問・回 答 事 項
Q 2 4 仕様書 p3 第 8 システムの運用・保守はリモート接続可能でしょうか。可能であれば、実施するための必要な要件をご教示ください。
A 2 4 システムの運用・保守について、リモート接続は可能です。 要件は一般的なリモートデスクトップの設定が必要となります。
質 問・回 答 事 項
Q 2 5 仕様書 p3 第 8 現行システムの運用保守において、構築事業者様へのお問い合わせは、通常どの程度（件数・頻度）発生しているのでしょうか。
A 2 5 現行システムにおいては、週 1 回程度、年間約 5 0 回です。 なお、新システム導入直後は、増加することが見込まれます。
質 問・回 答 事 項
Q 2 6 仕様書 p4 項番 1 非公表様式（5 種類）について、帳票名や大まかな種類（決裁を行う伺など）を公表することは可能でしょうか。
A 2 6 非公表様式については、契約後に提供が可能です。なお、非公表様式は、A 4 版用紙 1 ～ 4 枚程度です。
質 問・回 答 事 項
Q 2 7 仕様書 p4 項番 1 要求仕様で必須としている帳票について、仕様書別紙で提示している 1 0 種類と非公表の 5 種類の計 1 5 種類という認識で合っているでしょうか。
A 2 7 お見込みのとおりです。

質 問・回 答 事 項	
Q 2 8	仕様書 p4 項番 1 「Microsoft Office」に対応とありますが、どの形式まで対応させる必要があるでしょうか。
A 2 8	Excel、Word 形式での対応を想定しています。
質 問・回 答 事 項	
Q 2 9	現行建設業管理システムサーバ等機器仕様 p2 1 各仮想サーバのバックアップは、共有サーバが行っていると想定しています。 別途、バックアップのための機器やソフトを準備する必要がある場合はご教示ください。
A 2 9	お見込みのとおりです。
質 問・回 答 事 項	
Q 3 0	現行建設業管理システムサーバ等機器仕様 p2 3 (2) 新サーバに割り当て可能なリソース (CPU、メモリ) はいくつでしょうか。
A 3 0	割り当て可能なリソース (CPU、メモリ) は、現行建設業管理システムサーバ等機器仕様 p2 3 (2) の表中「建設業 DB サーバ」「建設業 Web/AP サーバ 1」「建設業 Web/AP サーバ 2」「建設業編集マスタ DB サーバ」「建設業編集マスタ Web/AP サーバ」に記載のとおりです。
質 問・回 答 事 項	
Q 3 1	募集要項 P1 項番 3 契約期間において、「なお、現行システムから新システムへの完全移行時期については、令和 9 年 1 0 月 1 日とすること。」とのことですが、完全移行期とはデータ移行完了、運用開始という理解でよろしいでしょうか。
A 3 1	お見込みのとおりです。
質 問・回 答 事 項	
Q 3 2	募集要領 P6 項番 1 5 の締結等において、「想定される年度毎の事業費は、契約上限額である 197, 226 千円で契約した場合、令和 8 年度 112, 200 千円、

令和 9 年度 85,026 千円とする。」とのことですが、年度ごとの提案経費が上記金額を超過する場合も、募集要領の項番 3 記載の通り、「上限額を超える提案については選定しない。」に該当しますでしょうか。
A 3 2 募集要領 4 にある契約限度額を超える提案があった場合のみ、選定しないこととなります。
質 問・回 答 事 項
Q 3 3 要求仕様書 P1 「第 4 本システムの調達範囲について」の「(4) ネットワークの構築」において、『新システム稼働に必要なネットワーク構築を行い、適切に設定を行うこと。』とありますが、本業務の受託ベンダとして構築・設定しなければいけない範囲をご教示ください。システム構成図記載のネットワークは既設業者様にてご対応いただける理解でしたので念のため確認させてください。
A 3 3 システム構成図に係るネットワーク接続は本調達に含まれません。なお、ネットワーク接続後の接続テストは本調達に含まれます。
質 問・回 答 事 項
Q 3 4 要求仕様書 P1 「第 4 本システムの調達範囲について」の「(5) データ移行作業」において、移行作業量の積算のため、以下 4 点をご教示いただきたく存じます。 ①対象データの件数、年度範囲、総レコード数（又は容量）、移行データの項目定義、レイアウト（データ仕様）、移行対象データの 1 年度分のデータ件数（工事等入札参加資格有資格者情報・案件登録情報等）、過年度分とは具体的に何年とするか。 ②移行データ・サンプルデータの提供時期、および、提供データの形式 ③現行システムと新システムの管理項目差異で移行できない情報がある場合、移行対象外とする理解でよろしいでしょうか（必要な場合は抽出データを参照いただく）。 ④「令和 9・10 年度の工事等入札参加資格有資格者情報及び令和 9 年度の案件登録情報を優先的に移行すること。」とのことですが、当該移行についてはいつまでの想定でしょうか。また、優先ではない対象データの移行期限についても想定・希望があればご教示いただきたく存じます。
A 3 4 ①について、各年度当たりのデータ件数は工事等入札参加資格有資格者情報が 3, 0 0 0 件程度です。案件登録情報が最低 3, 5 0 0 件となります。過年度分につきましては令和 8 年度以前のデータを指します。その他項目については、契約後提供予定です。

②について、移行データ等の提供時期は令和9年7月頃を想定しています。提供データの形式はCSV形式です。 ③お見込みのとおりです。 ④本紙「A31」のとおりです。
質 問 ・ 回 答 事 項
Q35 要求仕様書 P2 「第4 本システムの調達範囲について」の「(6) システムの運用・保守」において、以下2点をご教示いただきたく存じます。 ①運用保守の対象範囲について、アプリケーション／ミドルウェア／OS／ハードウェア／ネットワークの各層のうち、どこまでが本調達の受託者が対応すべき対象になるのでしょうか。 ②バックアップ要件（受託者側で必要な作業、取得頻度、世代管理の必要性有無、外部記憶媒体への取得要否等）、システムの稼働時間帯、及び可用性（冗長化）の要件をご教示ください。
A35 ①本調達については、アプリケーション、ミドルウェアが対象です。 ②バックアップについては、共用サーバ上で行う想定です。また、システムの稼働時間帯は24時間となり、可用性・冗長性については、「現行建設業管理システム仮想サーバ仕様書」の図のとおりです。
質 問 ・ 回 答 事 項
Q36 要求仕様書 P2 「第4 本システムの調達範囲について」の「(9) システム研修」のうち、『受講者数約1,000人程度』とのことですが、業務毎、役割毎の人数内訳をご教示ください（システム管理者、有資格情報登録担当等）。
A36 受講者全員が工事案件登録から契約結果まで一連の作業を行うことを想定しています。
質 問 ・ 回 答 事 項
Q37 要求仕様書 P2 「第5 機能概要について」の「1 ユーザ管理」において、『想定されるユーザ登録数は約1,300人であり、最低同時入力可能者数は20人以上』とのことですが、サイジングにあたり、ピーク時のデータ量（アクセスが集中する時期・処理件数等）の想定をご教示ください。
A37 アクセスが集中する時期については、公告や入札、契約の時期に増加する傾向です。令和7度の案件登録のピークは5月であり、約650件

でした。	
質 問・回 答 事 項	
Q 3 8	要求仕様書 P2 「第5 機能概要について」の「8 企業情報等提供サービスの取込み」、「9 建設業許可の取込み」において、以下2点をご教示いただきたく存じます。 ①主要機能一覧のNo. 3にて、「一般財団法人建設業技術者センターからの情報取込（技術者情報取込）」のみとなっておりますが、技術者情報以外で取り込みが必要となる情報があればご教示ください。 ②一般財団法人建設業技術者センター（CE 財団）の企業情報等提供サービスのデータと連携するとありますが、実際に連携しているファイルの種類及びバージョンをご教示ください。
A 3 8	①建設業許可情報及び経営事項審査情報となります。 ②ファイルの種類は LIS ファイル拡張子（構造化照会レポートファイルと呼ばれる SQR 出力ファイル）となり、バージョンは 4.6 となります。
質 問・回 答 事 項	
Q 3 9	要求仕様書 P3 「第6 システム運用テスト」において、電子入札システムや電子閲覧システム等の連携先システムとの連携テストや各種調整については本業務の範囲外（福島県様、既設ベンダにて対応）という理解でよろしいでしょうか。
A 3 9	連携テストについては、本調達に含まれます。 なお、ベンダ間の各種調整については、県が行います。
質 問・回 答 事 項	
Q 4 0	要求仕様書 P3 「第6 システム運用テスト」において、ハードウェア構成に係る信頼性、セキュリティの確認等、ハードウェアに関する対応は本業務の範囲外（ハード構築業者にてご確認いただく）という理解でよろしいでしょうか。
A 4 0	お見込みのとおりです。

質 問・回 答 事 項	
Q 4 1	要求仕様書 P3 「第7 ソフトウェア等の調達」において、OS・ミドルウェア・DBについて、製品・バージョンの指定や制約の有無をご教示ください。
A 4 1	サーバOSはWindows Server2019 となります。また、他については指定や制約等ありません。
質 問・回 答 事 項	
Q 4 2	要求仕様書 P3 「第8 システムの運用・保守」において、オンサイト保守の要否を確認させてください。また、遠隔保守を許容いただける場合、遠隔保守用の回線費用等は受託者負担になりますでしょうか。
A 4 2	遠隔保守についても対応可能ですが、遠隔保守用の回線費用等は受託者から県までの回線費用は受託者負担となります。
質 問・回 答 事 項	
Q 4 3	要求仕様書 P3 「第8 システムの運用・保守」について、想定されるユーザ登録数は約1,300人（「第5 機能概要について」に記載の通り）とのことですが、利用者からの問合せ（ヘルプデスク）対応として、過年度実績等を踏まえて想定件数があればご教示いただきたく存じます。
A 4 3	現行システムにおいては、週1回程度、年間約50回です。 なお、新システム導入直後は、増加することが見込まれます。
質 問・回 答 事 項	
Q 4 4	要求仕様書 P3 「第8 システムの運用・保守」について、以下2点をご教示いただきたく存じます。 ①発注者への定期運用報告について、運用報告会の頻度、方式（対面／遠隔）、報告様式などに制約や想定はありますでしょうか。また、ログの提出頻度・形式に関する貴県の要件をご教示願います。 ②定期運用作業（稼働監視、バックアップ／リストア、セキュリティパッチ適用、ジョブ・バッチ運用、ログ点検、外部連携の稼働監視等）について、貴県が求める実施頻度・水準の有無をご教示願います。また、受託者にてバックアップを取得する場合、取得媒体等に指定（例：外部記憶媒体への取得）があるかご教示願います。

A 4 4 ①定期運用報告について、運用報告会の頻度は年3回程度、方式は対面もしくは遠隔を想定しています。報告様式などに制約や想定はありません。ログの提出は県が提出を求めたときとなり、CSV形式を想定しています。 ②定期運用作業について、実施頻度・水準の有無は福島県情報セキュリティポリシーに即して実施することとなります。また、受託者にてバックアップを取得する場合、取得媒体等に指定はありません。
質 問・回 答 事 項
Q 4 5 要求仕様書 P4～9（主要機能一覧） 「主要機能一覧」において、2027 年 9 月末までの短期間移行であることを踏まえ、優先度（高・中・低など）があればご教示ください。
A 4 5 「主要機能一覧」については、移行期間までに全て網羅している必要があります。
質 問・回 答 事 項
Q 4 6 要求仕様書 P4（主要機能一覧） 「主要機能一覧 1 ファイル管理」において、『非公表様式（5 種類）』とのことですが、見積積算に必要な概要・項目数・参照データ等をご教示願います。あわせて、詳細（内容・レイアウト）をご教示願います。
A 4 6 非公表様式の詳細な内容については、本調達契約後に提供予定です。なお、非公表様式は、A 4 版用紙 1 ～ 4 枚程度です。
質 問・回 答 事 項
Q 4 7 要求仕様書 P6（主要機能一覧） 「主要機能一覧 5 の事業管理システム連携」において、『各事業管理システムへ C S V 形式により入札結果情報を 30 分に 1 回程度、連携すること。』とのことですが、システムごと、連携情報ごとの頻度をご教示ください。
A 4 7 仕様書上で示している「システム構成図」のとおりです。
質 問・回 答 事 項
Q 4 8 要求仕様書 P10（システム構成図） 「システム構成図」において、LG-WAN 環境とインターネット環境の境界を跨ぐ連携について、通信要件及びファイル授受方式（中継方式等）をご教示願います。また、それらに関する通信設定は貴県側で設定いただける認識でよろしいでしょうか。

A 4 8 LG-WAN 環境とインターネット環境の境界をまたぐ連携については、LG-WAN 環境内にある専用のサーバ（本調達外）上に CSV ファイルを送受信することにより連携を行う想定です。また、通信設定は、県側で設定することを想定しています。
質 問・回 答 事 項
Q 4 9 要求仕様書 P10(システム構成図) 「システム構成図」において、各事業管理システム（土木部：事業執行管理システム／農林水産部：農林事業管理システム）との連携 I/F 仕様をご教示願います。また、CSV 形式による連携について、CSV ファイルの授受をどのような方式で実施するのか（新システム側で具備すべき方式）をご教示願います。新システムから相手先へ CSV ファイルを送信する場合は、その通信方式（FTP 等）についても併せてご教示願います。
A 4 9 各事業管理システム間の所定のフォルダを通しての連携となります。通信方式は FTP を想定しています。
質 問・回 答 事 項
Q 5 0 要求仕様書 P10（システム構成図） 「システム構成図」において、電子閲覧システムが建設業管理システムの DB から直接データを取得する方式（②公告データ随時）の参照するテーブル定義及びアクセス方式をご教示願います。
A 5 0 DB 連携における具体的なデータ連携方式については、新建設業管理システム側の仕様に合わせて、電子閲覧システムのアプリケーション側で連携を行います。
質 問・回 答 事 項
Q 5 1 要求仕様書 P10（システム構成図） 「システム構成図」において、電子入札システムとの連携 I/F 仕様をご教示願います。（工事等有資格業者名簿、電子入札対象案件、電子入札登録業者（IC カード）、電子入札参加業者、入札結果、総合評価案件の各連携データ） また、CSV 形式による連携について、CSV ファイルの授受をどのような方式で実施するのか（新システム側で具備すべき方式）をご教示願います。新システムから相手先へ CSV ファイルを送信する場合は、その通信方式（FTP 等）についても併せてご教示願います。
A 5 1 各システム間の LG-WAN 環境内にある専用のサーバ（本調達外）上に CSV ファイルを送受信することにより連携を行う想定です。通信方式

はFTPを想定しています
質 問 ・ 回 答 事 項
Q 5 2 要求仕様書 P1、11～13 要求仕様書 P1 の「第 3 ハードウェア等機器との互換性」にて、『別途に示す「現行建設業管理システムサーバ等機器仕様」の仕様で安定して稼働できるようにすること』において、以下の 6 点をご教示ください。 ①「現行建設業管理システムサーバ等機器仕様」に示された機器（県仮想サーバ）は本調達の範囲外との理解でよろしいでしょうか。 ②既設環境を用いた本業務の新システムは当該既設環境上での稼働になるため、ネットワーク環境構築を含め、既設業者様にてご対応いただける理解でよろしいでしょうか。 ③本調達のシステムについて、本番運用環境のみの構成が示されていましたが、テスト用環境の構築は不要との理解でよろしいでしょうか。必要な場合、想定されている環境構成（サーバ台数や設置場所、接続方式等）をご教示願います。 ④DBMSがOracleの場合、そのライセンス費用は貴県負担と考えてよろしいでしょうか（貴県仮想基盤上への環境構築となるため）。 ⑤要求仕様書では現行システムのサーバ構成が記載されていますが、Web/APサーバの冗長構成（DBは1台構成）にて構築する理解でよろしいでしょうか。 ⑥編集マスタ用のサーバは不要とする提案は許容いただけますでしょうか。
A 5 2 ①②⑤⑥お見込みのとおりです。 ③本番運用環境のみの構成を想定しています。 ④「Oracle」が新建設業管理システムを稼働させるために必要なソフトウェアの場合、ライセンス費用は受託者の負担となります。
質 問 ・ 回 答 事 項
Q 5 3 要求仕様書 P1、11～13 仮想サーバ仕様書において、共用仮想基盤上への構築可否、割当可能なリソース（CPU／メモリ／ディスク）及び他システムとの同居制約についてご教示ください。また、共用仮想基盤上のマシン作成について、貴県側でどこまで実施いただけるか（OS・ネットワーク設定の実施有無、負荷分散の設定の実施有無）、本調達の受託者で実施が必要な作業についてご教示願います。
A 5 3 共用仮想基盤上での構築は可能です。なお、共用仮想基盤は令和 8 年 1 2 月に新サーバへ切り替える予定であり、新サーバのスペックは「現

行建設業管理システム仮想サーバ仕様書」に記載のとおりです。割当可能なリソースは現行建設業管理システムサーバ等機器仕様 p2 3 (2) の表中「建設業 DB サーバ」「建設業 Web/AP サーバ 1」「建設業 Web/AP サーバ 2」「建設業編集マスタ DB サーバ」「建設業編集マスタ Web/AP サーバ」に記載のあるリソースとなります。また OS については、Windows Server2019 が既にインストールされており、ネットワーク接続後のテスト接続が本調達の対象となります。
質 問・回 答 事 項
Q 5 4 要求仕様書 P1、11～13 仮想サーバ仕様書において、『編集マスタシステムは、現行の建設業管理システムで入力した情報を C S V 形式でデータ出力するシステムであるが、上記仕様は今回調達予定の新建設業管理システム内に含まれているため、今回の調達に含めない。』とのことですが、編集マスタシステムで出力した CSV が事業管理システムへの連携データという理解でよろしいでしょうか。
A 5 4 編集マスタシステムから出力した CSV と各事業管理システムへの連携データは出力項目等が異なるため、別のデータとなります。
質 問・回 答 事 項
Q 5 5 要求仕様書 P1、11～13 仮想サーバ仕様書において、「電子閲覧システムが建設業管理システム DB からデータ取得」について、連携スケジュールをご教示ください。
A 5 5 仕様書では、案件情報の登録が確定した時点で連携する想定です。
質 問・回 答 事 項
Q 5 6 仕様書別紙 2 建設工事の発注種別の対応表のみが記載されており、コンサル（測量等）の発注種別区分の記載がございませんが、コンサルの発注種別は「地上測量／航空測量／調査／土木設計／建築設計」の 5 種との理解でよろしいでしょうか。
A 5 6 お見込みのとおりです。

質 問・回 答 事 項	
Q 5 7	仕様書 2 頁 (7) システムの使用可能最低期間 最低でも 10 年間は使用可能とすることと記載がありますが、10 年間の利用料等についても、提案金額に含みますでしょうか。また、含む場合はその支払い方法についてご教授願います。含まない場合は、本事業の委託期間終了後に再度予算措置との認識になりますでしょうか。
A 5 7	10 年間の利用料等については、提案金額に含んでおりません。 なお、令和 10 年 4 月 1 日以降は別途、システムにおける運用保守委託業務を契約する想定です。
質 問・回 答 事 項	
Q 5 8	実施要領 5 頁 12 ヒアリングによる審査について、ヒアリング時に実際にシステムデモを行うという認識でよろしいでしょうか。また、ヒアリング時には提案書とは別にスライド（パワーポイント等）を用意し使用することは可能でしょうか。
A 5 8	ヒアリングによる審査（2 次審査）は、提出された企画提案書で説明いただきますので、企画提案書以外のスライドや資料は使用できません。
質 問・回 答 事 項	
Q 5 9	仕様書別紙 1 各種帳票について、出力データ形式の指定はありますでしょうか。また、各種帳票のレイアウトはどのようにご提供いただけますでしょうか。※PDF、Excel 等。
A 5 9	各種様式の出力データ形式は、Excel を想定しています。 各種様式のレイアウトは仕様書別紙 1 「現行建設業管理システム出力帳票集」を参考としてください。 なお、非公表様式は、A 4 版用紙 1 ～ 4 枚程度であり、契約後に提供可能です。
質 問・回 答 事 項	
Q 6 0	仕様書システム構成図 ②電子閲覧システムが建設業管理システム DB からデータ取得とありますが、電子閲覧システムへのデータ取込みについてどのようなデ

ータ形式、レイアウトで行っておりますでしょうか。また、一般財団法人建設業技術センターとの連携に使用する CSV 形式データのレイアウト等についてご教授ください。

A 6 0 DB 連携における具体的なデータ連携方式については、新建設業管理システム側の仕様に合わせて、電子閲覧システムのアプリケーション側で連携を行います。

また、一般財団法人建設業技術センターから送られてくる連携するファイルの種類は LIS ファイル拡張子（構造化照会レポートファイルと呼ばれる SQR 出力ファイル）となり、バージョンは 4.6 となります。

質 問・回 答 事 項

Q 6 1 現行建設業仮想システム仮想サーバ仕様書

2 仮想サーバ論理構成図について、編集マスタが構築されており現行の建設業管理システムにて入力した内容を CSV 出力するシステムとありますが、出力している CSV 形式データのレイアウト等を事前にご提示いただくことは可能でしょうか。

A 6 1 契約後に提供します。

質 問・回 答 事 項

Q 6 2 要求仕様書 1 頁

本システムの調達範囲 (3) ハードウェア等機器との互換性について、本業務内で新規でハードウェア（サーバ等）を調達するという認識でしょうか、もしくは、現行のサーバ機器及び仮想サーバをそのまま使用するというのでしょうか。また、福島県にてご用意いただけるクライアントライセンスはどのようになっていますか。

A 6 2 現行のサーバ機器及び仮想サーバを使用する想定です。クライアントライセンスは Windows Server2019 が既にインストールされています。

なお、仮想サーバは令和 8 年 1 2 月に新サーバへ切り替える予定であり、新サーバのスペックは「現行建設業管理システム仮想サーバ仕様書」に記載のとおりです。

質 問・回 答 事 項

Q 6 3 要求仕様書 3 頁

第 5 12 操作ログの保存について、保存期間はどの程度を想定してま

すでしょうか。

A 6 3	操作ログの保存期間は、定めていません。企画提案における評価対象となります。
質 問・回 答 事 項	
Q 6 4	新建設業管理システムにおける主要機能一覧 入札方式について、W T O一般競争入札がありますが、外国語の対応も想定されていますでしょうか。
A 6 4	外国語の対応は想定していません。
質 問・回 答 事 項	
Q 6 5	システム構成図 バックアップについてのお考えをご教授願います。
A 6 5	バックアップは、共用サーバ上で行う想定です。
質 問・回 答 事 項	
Q 6 6	仕様書 3 頁 第 6 システム運用テストについて、システムの性能とありますがパフォーマンスの問題がないことを確認するのに指標となるデータ量などがあるかご教授ください。
A 6 6	仕様書に示す「現行建設業管理システム仮想サーバ仕様書」を参考としてください。また、データ量について令和 7 年度の案件登録のピークは 5 月であり、約 6 5 0 件でした。